

第6学年2組 国語科学習指導案

平成18年9月22日(金)

指導者 鈴木 伸治

1 単元名 みんなに優しい町を考えよう

教材名 「みんなで生きる町」 光村図書 6上

2 単元の目標

◎身の回りの施設について「だれもが利用しやすい」という観点から調べて発表し合い、深まった考えを意見として提案する文章を書くことができる。

○自分の調べたことについて、事実と意見に区別してまとめたり、発表したりできる。また、友達の意見を主体的に聞くことができる。

3 評価規準

| ア 国語への関心・意欲・態度 | イ 聞く・話す能力 | ウ 書く能力 |
|---|---|---|
| ○「多くの人が使えよう」になることを考えて、身近な施設や物に関心をもち、進んで調べたり発表したりしている。 | ○身の回りの施設について調べたことや考えたことが正確に伝わるように事実と感想、意見を区別して話の組み立てを考えて発表している。 ○自分の考えの参考になりそうな意見をメモしながら聞いている。 | ○調べた内容について、事実と感想、意見を区別するとともに、具体的な説明や考えの理由を述べて、提案文章を書いている。 |

4 指導にあたって

(1) 児童観(男子15名、女子16名、計31名)

○本学級の児童は、国語という教科に限らず、調べ学習を好んでいる。その理由としては、「調べたことを班でまとめるのが好き。みんなで話し合うのが楽しい。パソコンなどを使って調べることができるから。見学とかが楽しい。」といった感想から推測される。昨年度「環境について考えよう」という学習で、それぞれ課題別のグループに分かれ、まとめ、発表するという学習を経験しており、本単元「みんなで生きる町」についても興味を持って取り組むことが予想される。しかしながら、昨年度は、調べた本等の内容の丸写しが多く、しっかりと事実を理解し、自分なりの主張といったところまでは踏み込めていなかった。

(2) 教材観

○本教材「みんなで生きる町」は、身の回りの施設について調べて発表したり話し合ったりし、自分なりの意見を提案する文章を書くという構成になっている。「考えたことや自分の意図がわかるように話の組み立てを工夫しながら、目的や場に応じた適切な言葉遣いで話すこと。」(話すこと・聞くことア)「自分の考えを明確に表現するため、文章全体の組み立ての効果を考えること。」(書くことウ)をおもなねらいとしている。身の回りの施設について観察したり体験したりすることで、課題が生まれ、それについて検討することが話すこと、書くことの目的につながるだろう。また、自分が調べてみたいという施設を選択させることによって、学習に対する意欲が持続し、さらには、友達に対して、調べたことや自分なりの意見を伝える・発表するという機会を持つことで、発表に対する工夫や態度の育成面で価値が高いととらえる。

(3) 指導観

○研究部門とのかかわり

「いのち・環境」では、人（ひと）花（はな）事（こと）を3つのキーワードを手がかりにめざす子供像を定め、研究を進めている。

| | | |
|---|---|--------------------------------------|
| 人 | ⇒ | 自分も相手も大切にしながら、よりよくかかわろうとする子ども |
| 花 | ⇒ | 身の回りの自然（環境）に興味を持ち、積極的にかかわろうとする子ども |
| 事 | ⇒ | 身の回りの事象（自然や社会）に関心を持ち、より深くかかわろうとする子ども |

本単元では、上記の「人」と「事」とのつながりが深い。つまり、国語科で学習する内容（(2)の教材観で述べた学習内容）を児童に習得させるというねらいとともに、福祉・ボランティアといった、人として共に生きていこうとする態度（共生力）などの育成面もねらいの一つにある。国語科の学習をしっかりと進めることで、身の回りの社会や人に対する思いをも深めていける高い価値がある。

○体験・本物の重視

身の回りの施設を見学するという機会を持たせる。実際に、自分たちが生活している市の施設を見学することで、学習自体が生活と密着し、学習意欲が持続するととらえる。また、実際に、芳賀さん（西根在住：ふれあいコンサートなどで活躍）をゲストティーチャーとしてお招きし、学習に参画していただく。芳賀さんのお話から、人に優しい社会環境といった視点を深めさせ、後の意見文を「書く」といった活動に生かしていきたい。

○つけたい力の明確化と個人の願い

国語科に限らず、授業は指導者の定めた目標に向かって学習が展開していく。その評価規準と個人のめあて（なりたい自分）が合致していれば、指導の手立ても具体的になり、学習効果も高いだろう。6年生という発達段階を考えると、「この学習で、こんな力を伸ばしたい」という自分なりのめあてが漠然とはしているものの持っている。こうした、一人ひとりのめあてや願いを探り、誰に、単元の中の、どの場面（時間）で、そのめあてにアプローチできそうかを把握し、支援に当たれるようにしたいと考える。それが一人ひとりの学習の楽しさ（できた・わかった・伸びた・という成就感）につながればよいと考える。（指導案の最後の資料）

この一覧をみると、やはり一人ひとりががんばりたい部分が違っている。ある子は、話し合いの中で自分の意見を言えるようにだったり、またある子は発表の仕方だったりしている。一時間の中ですべての子に関わることは、現段階の自分の力量では不可能なので、一時間一時間の指導者のねらいと、個人のめあてや願いが合致しそうな子に焦点を絞って、励ましながらい指導に当たっていきたい。

○収束と拡散

単元全体を見通して、または、一時間一時間の学習を見通して、指導者が、「これは全体にきちんととらえさせたい」という部分（収束）と「ここは児童に任せたい」という部分（拡散）を明確にし、学習のバランスをとっていきたい。

○響き合う子供にむけて（振り返り活動の重視）

国語の学習に限らず、児童の話し合いが活発になされているときは、得てして、「発表」よりも「おしゃべり」感覚で話し合いをしているときの方が多いように感じる。その中で、ともすれば埋もれてしまうであろう友達のつぶやきのよさを振り返らせたいと思う。そのためには、しっかり聞くという態度を養っていくと同時に、自分のつぶやきが友達の学習を高めるということを体験させる必要がある。そのためにも振り返りカードを活用し、自他を俯瞰的に見る目を養っていきたい。

5 単元計画（全15時間 本時5／15）

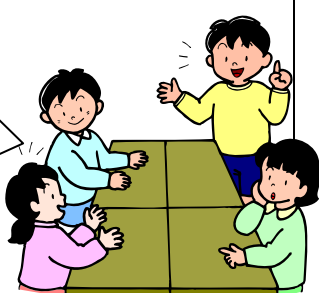
| 次・時 | 学習活動 | 指導・支援のポイント | 評価規準 |
|---|---|--|--|
| <p>一</p> <p>①</p> <p>②</p> | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 公共施設や物の使いやすさについて関心を持ち、学習の計画を立てる </div> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書の写真を見て、気づいたことを発表し、身の回りの施設やものについて考える視点をもつ。 ・学習のめあてを知り、学習の見通しを持つ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・教科書の写真から、身の回りに似たようなものがないか発表させる。 ・調べて考えたことをまとめて発表し、最後に意見文を書くという見通しを持たせる。 【相手意識→クラスの友達に】 【目的意識→よりよい社会へ】 ・この学習を通して、自分の伸ばしたい力（めあて）を考える。 | <ul style="list-style-type: none"> ・新出漢字・語句の理解（言） ・みんなで生きる町についてイメージを広げ、進んで自分の考えを発表している。（関） |
| <p>二</p> <p>③</p> <p>④</p> | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> ユニバーサルデザインの発想をもって、身の回りの施設や物について調べる </div> <ul style="list-style-type: none"> ・資料「多くの人が使えるように」を読み、ユニバーサルデザインの意味を理解する。 ・身の回りにある施設や物について問題意識を持ち、調べる計画を立てる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・身近な施設を取り上げ、クイズ形式で提示し、ユニバーサルデザインに気づかせ、よさや問題点について話し合っていくようにする。 ・取材活動の計画 ・あいさつ、マナーの指導 | <ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインの考え方を具体的にとらえている。（関） ・自分で取材先やめあてを考え、計画書を書いている。（関） |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 各自（各班）の取材活動・・・国語の時数には計上せず </div> | | | |
| <p>三</p> <p>⑤ (本)</p> | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 調べたことを、分かりやすくまとめる </div> <ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすさについて全員で確認する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすいとは具体的にどういうことか考えさせる。 | |

| | | | |
|--|---|---|--|
| ⑥⑦⑧ | <ul style="list-style-type: none"> 調べたことを整理し、発表の準備をする。 | <ul style="list-style-type: none"> 調べ活動でわかったことを、どんな風にまとめるか話し合わせる。 | <ul style="list-style-type: none"> 調べた内容や提案を友達に正確に伝えるためにどうすればよいか話し合っている。(話・聞) 事実と意見を区別して書くようにしている。(書) |
| 四 ⑨⑩ | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;">発表会</div> <ul style="list-style-type: none"> 班ごと発表し合い、内容や発表の工夫について意見交換をする。 | <ul style="list-style-type: none"> 調べ活動でわかったことをもとに「よさ」や「改善点」について意見交換させ、その後、芳賀さんのアドバイスを得させる。 | <ul style="list-style-type: none"> 友達の発表や芳賀さんの話を聞き、今後の意見文のためにポイントとなるようなことをメモしている。(話・聞) |
| 五 ⑪ ⑫⑬ ⑭ ⑮ | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;">提案文（意見文）を書く</div> <ul style="list-style-type: none"> 提案文章の書き方を知る。 深まった考えを提案として文章に書く。 各自書いた提案（意見）文を他の人と読み合い、修正する。 見学した場所、お世話になった人へお礼の手紙を書く。 | <ul style="list-style-type: none"> 教科書の文章例をもとに形式を知らせる。 タイトル、前書き、具体的な提案内容、理由を書くようにさせる。 形式に基づいて書けたか、自己評価させる。 提案（意見）文に書かなければならない内容が書けているか、相互評価させて修正させる。 自分がお世話になった施設の方に対して、お礼状が必要なことに気づかせ、提案（意見）文を学習の成果として送り届けることを知らせる。 | <ul style="list-style-type: none"> 提案（意見）文には、何を書けばよいかわかる。(書) 自分の提案内容が伝わるように、発表会のことを思い出しながら文章を書いている。(書) 提案（意見）文の書き方や内容を確認している。(書) お世話になった方に対して心をこめてお礼状を書くようにしている(関) |

6 本時

(1) 目標 各班ごと、「わかりやすい」まとめ方を意識して、取材メモや写真などを生かした話し合いやまとめができる。

(2) 過程

| 学習活動（形態） | ○教師の手立て 評価の観点 |
|---|--|
| 「わかりやすいまとめ」になるよう、意見を出し合って工夫しよう | |
| <p>1 「わかりやすい」まとめとはどういうまとめをいうのか確認する（全体）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図・表・写真をつかう ・ 適切な文、言葉をつかう（見学についてない人にわかるように） ・ ていねいな字で書く <p>2 各班ごとまとめよう（見学班ごと）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【期待する話し合いの様子】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「わかりやすさ」のポイントに振り返って話し合っている姿 ・ 自分たちのまとめに向かって、いろいろな意見を出している姿 ・ 積極的な発言とまでは行かないまでも、友達の話（つぶやき）に真剣に耳を傾けている姿 ・ 自分の考えと友達の意見を比較し、よりよいものをめざそうとしている姿 </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <p>3 学習を振り返って、自己評価する。</p> | <p>○各班のまとめに入る前に、「わかりやすさ」にこだわらせるために、全体で考えさせる。 →文だけではなく、補助的な図や資料などがあるとよいこと、ていねいさが必要なことなど確認する。（またはその逆）</p> <p>○話し合いが活性化するように、「友達の意見は宝物」をクラスのキーワードに話し合いに参加させる。 ＝ 本時で集中して支援にあたりたい児童 ＝ ※本時の目標と個人の願いが一致している ヤマザワチームの佳祐くん、和也くん 市役所チームの彩香さん、 図書館チームの宇美さん、</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin: 10px 0; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <p>イラストやクイズなどを入れて、興味をひくようにしてはどうか？</p> </div> <p>○児童の創意工夫に任せる場面なので、教師の発言は努めて控え、児童の声を尊重する。話し合いが活性化しない班があっても、誰かが発言するのを待つ。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin: 10px 0; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <p>あまり写真ばかりでもちゃんとした説明がないとわかりにくいと思う。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「わかりやすさ」に焦点を絞った話し合いができたか。 ・ 見学してきてわかったことを、工夫してまとめようとしていたか。 </div> |

9 / 22 ふり返りカード 名前 ()

| | | | | |
|----------------------------|---|---|---|-----------------|
| 「わかりやすさ」に注意して工夫してまとめようとしたか | ◎ | ○ | △ | |
| 友達の話をよくきいたか | ◎ | ○ | △ | だれの、どんな意見がよかったか |
| 自分から進んで話したか | ◎ | ○ | △ | |
| 次にがんばりたいこと | | | | |

9 / 22 ふり返りカード 名前 ()

| | | | | |
|----------------------------|---|---|---|-----------------|
| 「わかりやすさ」に注意して工夫してまとめようとしたか | ◎ | ○ | △ | |
| 友達の話をよくきいたか | ◎ | ○ | △ | だれの、どんな意見がよかったか |
| 自分から進んで話したか | ◎ | ○ | △ | |
| 次にがんばりたいこと | | | | |